

京都岡崎

魅力づくり推進協議会ニュース

発行：京都岡崎魅力づくり推進協議会事務局



創刊号

Information

● 京都岡崎の次の100年に向けて・・・

平成22年度に策定した「岡崎地域活性化ビジョン」を推進するとともに、岡崎地域の魅力向上を図っていくエリアマネジメント組織が、この度発足しました。組織の名称は、「京都岡崎魅力づくり推進協議会」です。7月8日（金）の午後6時から、みやこめっせにおいて設立総会が行われました。

魅力づくりを推進する活動、 いよいよスタートです

	団体名
市施設	(財)京都市国際交流協会 (京都市国際交流会館)
	京都市美術館
	京都市動物園
	(財)京都市音楽芸術文化振興財団 (京都会館)
	(株)京都産業振興センター (京都市勧業館「みやこめっせ」)
	京都市上下水道局琵琶湖疏水記念館
国施設	独立行政法人国立美術館 (京都国立近代美術館)
府施設	京都府立図書館
社寺	平安神宮
	南禅寺
民間施設	公益社団法人 京都観世会 (京都観世会館)
	野村美術館
	細見美術館
	関西電力(株) 京都支店
事業者	神宮道商店街組合
	ウェスティン都ホテル京都
	岡崎桜回廊十石めぐり実行委員会
団体	岡崎自治連合会
	南禅寺地域の環境を守る会
経済・観光	京都商工会議所
	(社)京都市観光協会
推進分野	京のアジェンダ21フォーラム
	公益財団法人 京都市芸術文化協会
	公益財団法人 京都市文化観光資源保護財団
	(財)京都市景観・まちづくりセンター
行政機関	京都市総合企画局
	左京区役所

参画団体一覧

総会冒頭で、門川市長が挨拶され、「一流の資源と、限らない可能性を秘めた岡崎を京都、日本、世界のために活かしていきたい。」「オール京都で力強く岡崎の魅力づくりを進めていこう。」と岡崎活性化への強い思いを表されるとともに、ビジョン策定や組織設立に対する御礼を述べられました。



「京都岡崎魅力づくり推進協議会」は、27団体で構成しており、決定機関である総会、情報交換の場である連絡会、業務執行を管轄する幹事会、そして各プロジェクトを推進するプロジェクトチーム、事務局で構成しています。さらに岡崎地域の魅力づくりに向けて、目的を同じくする多様な団体や京都市の関係部局とも積極的に連携していきます。

ご報告

設立総会&幹事会 ダイジェスト

設立総会及び総会終了後に行われた第1回幹事会の様子をご報告します。

設立総会では、第1号議案として「組織名称」、第2号議案として組織規約等について承認されました。第3号議案として役員が選出されました。代表には、京都市美術館長の潮江宏三氏、幹事会には参画団体の中から11団体、幹事長には(株)京都産業振興センター(みやこめっせ)の岡田安正氏が選ばれました。さらに本組織のアドバイザーとして、京都大学大学院教授の門内輝行氏、(株)京都銀行会長の柏原康夫氏が委嘱されました。

第4号議案では、組織の運営方針に加え、今年度のリーディング事業として、①岡崎・あかりとアートのプロムナード事業、②魅力情報発信事業、③秋・春の岡崎散策事業、④コラボイベント等支援事業を実施することが承認され、第5号議案として予算も承認されました。

また、その後の意見交換では、「15周年を迎えたみやこめっせと一緒に岡崎を盛り上げていきたい」((株)京都産業振興センター 波部代表取締役)、「岡崎に注目が集まるのは嬉しく、積極的な情報発信に取り組んでいきたい」(平安神宮 本多総務部長)、「地元の声をしっかり聴きつつ、岡崎の素晴らしいものを活かして先を見据えた判断をしていく必要がある」(岡崎自治連合会 澤邊会長)などといった意見が出されました。



潮江代表 あいさつ

岡崎地域活性化懇談会の取組をはじめ、こうした形でエリアマネジメント組織を組み立てられたのは非常に重要なこと。年間500万人もの人々が訪れる地を更に活性化させることに疑問を持たれる方もあるかもしれない。しかし、現状では「点」としての来訪が多く回遊が少なく、京都岡崎が持つ資源やポテンシャルが活かされておらず、地域の活性化につながっていないという岡崎の現状がある。これからのまちの活性化は、行政が引っ張るのではなく、柔らかなネットワークのもとに進めていくことが大事なポイント。



門内アドバイザー メッセージ

行政・市民・企業、多くの方が力を発揮して、まちを育てていこうというのが“エリアマネジメント”。先人が築いた過去に敬意を払いながらこれを「継承」し、未来に何を残していくかを考えながら新たな「創造」を付け加えていくことである。大切なのは、関係している人たちの人間関係を形成すること、人や組織がつながっているということである。地域の活性化とは、地域に生命を吹き込むことである。ぜひ、多くの方にビジョンをしっかりと御覧いただき、今回の組織が岡崎の夢を共有した、より多くの関係者のコミュニティへとつながることを期待する。

第1回幹事会の開催

日時：2011年7月8日（金）19時半～20時

場所：みやこめっせ

総会終了後、第1回幹事会を開催しました。岡田幹事長の挨拶の後、幹事会で検討する内容、スケジュールを確認し、プロジェクトを具体的に検討・遂行する母体である「プロジェクトチーム」を立ち上げることを確認しました。今年のリーディング事業である「岡崎・あかりとアートのプロムナード」では、「エコ×アート×コミュニティ」を取組方針として、事業の具体化を進めることを確認しました。



京都岡崎魅力づくり推進協議会 事務局

京都市総合企画局市民協働政策推進室

TEL:075-222-4178

FAX:075-213-0443

京都岡崎

魅力づくり推進協議会ニュース

発行：京都岡崎魅力づくり推進協議会事務局

第2号

京都岡崎魅力づくり推進協議会が主催する初めての取組である

岡崎・あかりとアートのプロムナード、終了しました!

平成23年10月27日（木）～30日（日）の4日間、新たな魅力づくりを目的とした岡崎地域をあげての「岡崎・あかりとアートのプロムナード」が開催され、盛況のうちに幕を閉じました。

最終日はあいにくの雨模様となりましたが、他は天候に恵まれ、期間中は約3万人の皆様方に、美しく演出された夜の散策や文化施設の夜間特別開館など、岡崎の新たな魅力を堪能いただきました。

協議会は7月に設立したばかりで、準備期間も短い中での取組でしたが、今回の取組の成果と課題を活かしつつ、岡崎の新たな風物詩となるよう力を合わせていければと考えております。



京都市美術館での岡崎ときあかりの様子



京都市美術館での岡崎ときあかりの様子



ライトアップで彩られた京都会館とケヤキ並木



細見美術館のあかりジャズナイト



府立図書館のライトアップ



平安神宮応天門のLEDライトアップ



みやこめっせの音と光の演出



岡崎中学校の生徒が作成した行灯



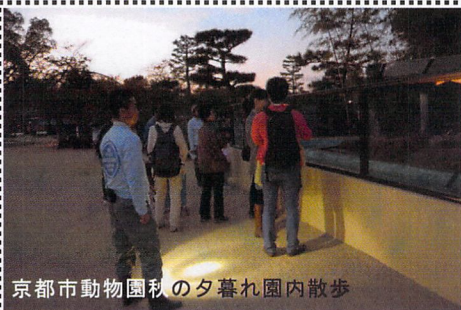
京都市国際交流会館のLED演出



国立近代美術館カフェと老舗和菓子店とのコラボ

ご報告

「岡崎・あかりとアートのプロムナード」は、本協議会の会員団体・施設の企画とともに多様な方々とのコラボレーションを展開し、エリア一帯で夜の新しい魅力創造にチャレンジしました。実施した様々な事業をダイジェストでご報告いたします。（ご報告は紙面の都合上、一部のみのご紹介となります。多くの方々のご協力のもとに実施いたしました。改めてお礼申し上げます）



京都市動物園秋の夕暮れ園内散歩



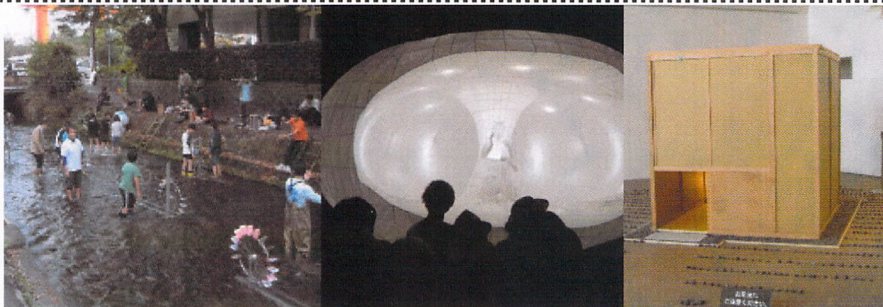
美術館長ナイト・ギャラリートーク

会員団体・施設による 夜間特別開館

京都市美術館、京都国立近代美術館、観世会館、琵琶湖疏水記念館、京都市動物園などで一斉に夜間開館や特別ツアーを行い、これまでに無い企画を提供いたしました。

大学や地元学校との連携

立命館大学と岡崎中学校のコラボによるマイクロ発電水車を使ったLEDの発電実験、京都造形芸術大学の「京造ねぶた」の展示、スペースデザインカレッジ京都校によるお茶室の展示が行われました。



企業や市民グループとの連携

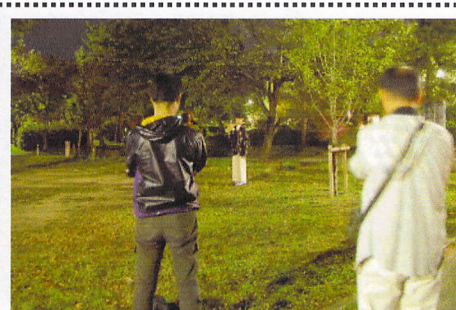
LED照明によるライトアップやエコカーの展示、パネル解説など企業が取り組む様々なエコ企画を発信いただいたほか、市民グループによるガイド解説付きまち歩きツアーも行われました。



オカシルリレー講座



電気自動車と急速充電器等の展示・解説



まちかど奏者

京都市交通局の「サブウェイパフォーマンス」に登録されているアーティストのうち、13組の方々が入り、オープン空間で音楽による彩りを添えていただきました。



カフェやショップによる魅力向上

未来の担い手・若者会議U35によるカフェイベントが開催されたほか、岡崎エリアに立地する飲食・物販等の3店舗に参画いただく「岡崎めぐり」企画を実施、岡崎界わいの魅力が一層増加しました。